

令和2年度活動方針

愛媛県連盟スローガン

スカウトの、スカウトによる、スカウトのための活動を推進しよう。

《重点目標》

- 1 「ちかい」と「おきて」に基づく活動を実践し、スカウトの上進を促進する。
- 2 「セーフ・フロム・ハーム」に則ったスカウト運動を展開する。
- 3 県連結成 70 年の実績を力に、新たな体制への変革を目指す。

令和2年度は、前年度に引き続き「スカウトの、スカウトによる、スカウトのための活動を推進しよう。」をスローガンに取り組みます。

スカウト運動は、青少年が社会において責任ある役割を担い、自らその使命を果たすとともに、より豊かな人生を送ることができるよう支援する運動である。その運動の基本は、言うまでもなく『「ちかい」と「おきて」』に基づく活動を実践することであり、日々の活動の中で行動に結びつくよう指導に力を入れなければならない。また、指導者には、活動にあたって、あらゆる危害から加盟員を守り、安心・安全な活動環境を整えることが求められる。それは、とりもなおさず、スカウトの「思いやりの心を育む教育」に結びつくものであり、「セーフ・フロム・ハーム」に則ったスカウト運動の展開は欠くことのできない要件である。

さらに、愛媛県連盟は、今年度、結成 70 周年を迎える。これまで幾多の苦難を乗り越えながらも、先人の努力により今日の発展を成し遂げてきた。しかし、ここにきて社会情勢の変化等もあり、大きな転換期を迎えている。この難関を打破するためには、加盟員が一丸となった取り組みが必要である。スカウト数を増やそうと、隊員募集のチラシを配って入団者を待つだけの戦略は、今や力を失ってきた。今まで以上に社会や保護者がボーイスカウトに求めているものを知り、そのニーズに応える必要がある。そのためにも積極的に地域・社会団体とのかかわりを深め、SDGs のプログラムを取り入れるなど世界的視野に立った双方向の活動が必要である。幸い、ボーイスカウト運動には、100 年に及ぶ歴史と実績がある。今こそ、我々の持つ力を社会に発信し、新しい価値の共創を図るよう変革に努めなければならない。

県連盟結成 70 周年事業として、11 月に記念事業・記念式典の開催を予定している。県内の全団から参加することにより、士気を高め、スカウト運動の拡大へつなげていくよう準備をすすめている。

現在、世界的な規模で新型コロナウイルスによる感染拡大が広がっており、感染拡大防止と対策のために活動自粛が続いている。これにより、今年度は、事業の変更や中止も予想されるが、スカウトのモットーは「そなえよつねに」（備えよ常に）、如何なる苦難にも対応できる柔軟さと能力を発揮したいものである。

《重点事業》

- ① 班（組）長・次長の育成とスカウトの上進を促進する隊活動の展開
- ② 団・地区・県連盟の情報の共有化を図り、地域と連携した活動の展開
- ③ 県連結成 70 周年の節目にあたり、飛躍と拡充を目指した活動の展開